

議案番号	98	令和8年度大山町一般会計補正予算(第4号)
令和8年度大山町一般会計補正予算（第4号）の概要について		
今回補正額		89,401 千円
(財源内訳)	国・県支出金	48,967 千円
	地方債	21,900 千円
	一般財源	18,534 千円
補正後の額		12,928,418 千円
(参考)		
昨年度7月末現在予算額		12,796,987 千円
(前年度比		131,431 千円の増)
補正計上された主な事業等		
●だいせん応援チケット発行事業(令和8年度分) 55,270千円(要求課 商工観光課)		
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けている家計の負担軽減及び地域経済の活性化を図るため、全町民を対象に町内協賛店舗で利用可能な商品券を配布することにより、町民の町内消費を促す。		
【配布額面】1人あたり:3,500円(500円×7枚綴)		
●家計負担激変緩和対策事業 2,249千円(要求課 総合福祉課)		
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及び鳥取県家計負担激変緩和対策事業補助金を活用し、物価高騰により家計に大きな影響を受ける世帯(生活保護費等支給対象世帯)に対し、給付金を支給することで、当面の生活を維持し、自立に向けた活動の円滑化を図る。		
【支給対象世帯】200世帯(生活保護世帯等)		
【給付額】1世帯あたり:11,000円		
●大山町アウトドアライフ事業促進施設接地工事 24,382千円(要求課 総合戦略課)		
電気設備の安全確保に不可欠なアースについて、当初予定していた工法で電気抵抗値を測定したところ、国の定める基準に達していないことが判明した。基準未達の場合、法令違反となり施設の電気を使用できないことから、接地極を深く埋設する「ボーリング接地工法」による追加工事を実施する。		